

学生の学習成果に基づいた カリキュラムツリー

学生の学習成果に基づいた カリキュラムツリーの取り扱い説明書

- 学生の学習成果に基づいたカリキュラムツリーは
 - 便覧の講義概要やシラバスなどを基に作成
 - 授業と学生の学習成果の関係性をツリー状で明示
 - 授業の位置づけが明確になる
- 学生の学習成果のディプロマ・サプリメントの作成方法
 - 作成したカリキュラムツリーのエクセルデータにGP（グレードポイント）を入力（**平均値が出力**）
 - 出力データを基に、教員との様々なコミュニケーションを通してより精度を上げる

【イメージ】一緒に自分を磨きに磨きをかける！そして、卒業するまで磨き続ける！

学生の学習成果に基づいた カリキュラムツリーの取り扱い説明書

【コミュニケーション法】

以下のコミュニケーションを通して、自分を磨き続ける！

ステップ① 出力データ内容について担当教員と一緒に考える

出力結果について考察

- 授業についての感想
- 得意内容と苦手内容

ステップ② 授業担当教員とコミュニケーションをとり、GPの裏付けを明確にする

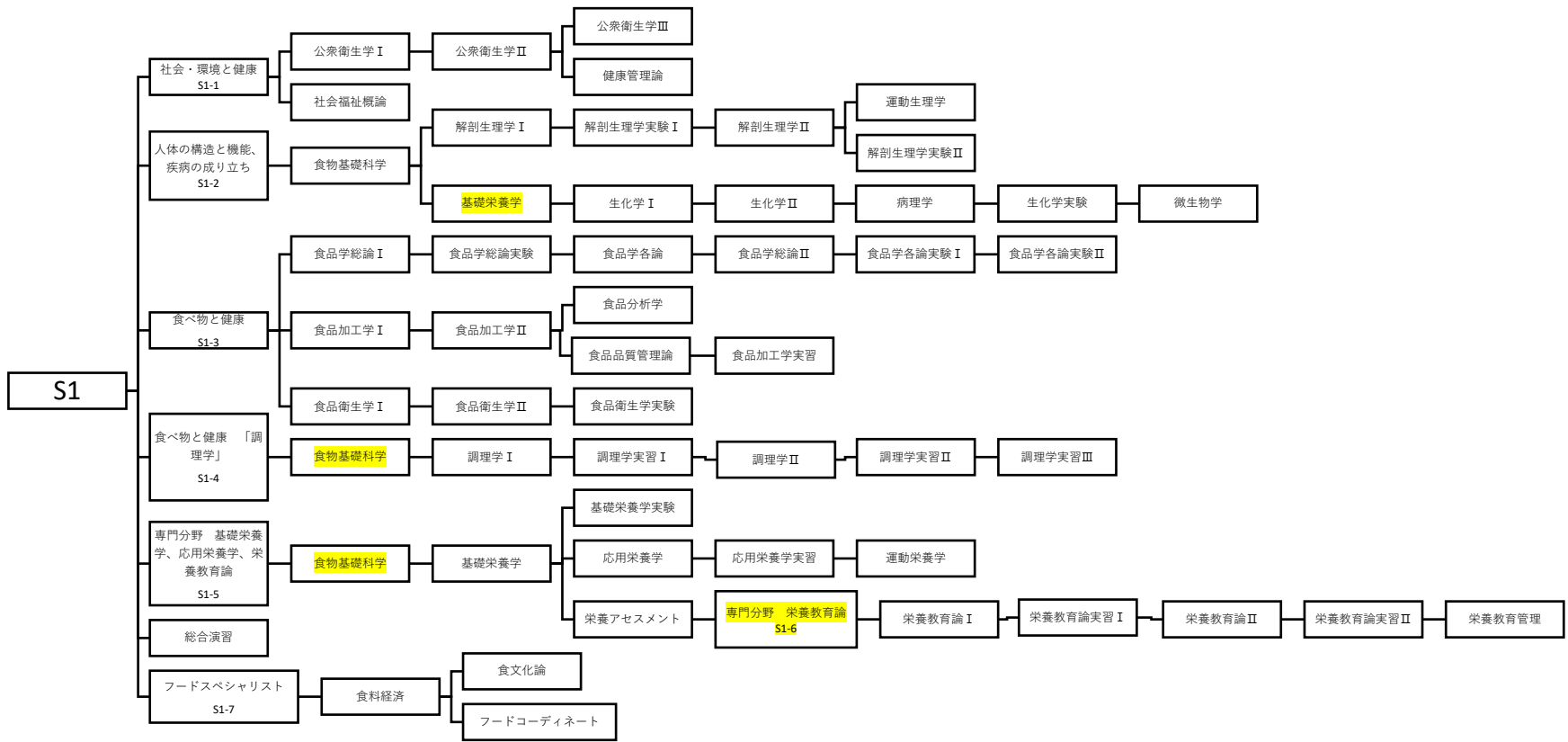
学生と授業担当教員のギャップを埋める

- 何が出来ていたのか、何が出来ていなかったのか
- 出来ているところをどのように強みとしていくのか
- 出来ていないところをどのように改善すべきか
- 授業担当教員と共に評価することで、より良いディプロマ・サプリメントが出来上がる

専門的学習成果

- 学科の専門学習では、Society 5.0時代の現場に即応でき、栄養・食を通して、人々の健康と幸福に貢献できる管理栄養士になるため、学科の教育課程の学習をとおして、専門知識と専門的能力を獲得する。

多様な専門領域に関する基本となる専門的知識を獲得する。(S1)



多様な専門領域に関する基本となる専門的知識を獲得する。(S1)

□多様な専門領域に関する基本となる専門的知識は、下記の内容で構成する。

- 「社会・環境と健康 (S1-1)」
- 「人体の構造と機能、疾病の成り立ち (S1-2)」
- 「食べ物と健康 (S1-3)」
- 「食べ物と健康 「調理学」 (S1-4)」
- 「専門分野 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論 (S1-5)」

□多様な専門領域の横断的内容として、総合演習を含む

□フードスペシャリストの学びの内容を含む (S1-7)

「社会・環境と健康（S1-1）」 の目的と構成要素

【目的】

下記の内容を修得することを目的とする。

- 健康とは何か、そして人間の健康を規定する要因としての社会・環境に関する基礎的知識
- 人々の健康状態とその規定要因を測定・評価し、健康の維持・増進や疾病予防に役立つ基本的な考え方とその取組についての理解
- 保健・医療・福祉制度や関係法規の概要についての基礎的知識

【構成要素】

- 公衆衛生学Ⅰ
- 公衆衛生学Ⅱ
- 公衆衛生学Ⅲ
- 健康管理論
- 社会福祉概論

「人体の構造と機能、疾病の成り立ち (S1-2)」の目的と構成要素

【目的】

食物基礎科学を基礎として、下記の内容を修得することを目的とする。

- 人体の構造や機能についての系統的な理解
- 基礎栄養学を基礎として、主要疾患の成因、病態、診断及び治療についての基礎的知識

【構成要素】

- 食物基礎科学
- 解剖生理学Ⅰ
- 解剖生理学実験Ⅰ
- 解剖生理学Ⅱ
- 解剖生理学実験Ⅱ
- 運動生理学
- 基礎栄養学
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 病理学
- 生化学実験
- 微生物学

「食べ物と健康 (S1-3)」の 目的と構成要素

【目的】

調理学を除く下記の内容を修得することを目的とする。

- 食品の分類及び成分を理解し、人体や健康への影響に関する基礎的知識
- 食品素材の成り立ちを理解し、食品の生産から加工、流通、貯蔵、調理を経て人に摂取されるまでの過程における安全性の確保、栄養や嗜好性の変化についての理解

【構成要素】

- 食品学総論 I
- 食品学総論実験
- 食品学総論 II
- 食品学各論
- 食品学各論実験 I
- 食品学各論実験 II
- 食品加工学 I
- 食品加工学 II
- 食品分析学
- 食品品質管理論
- 食品加工学実習
- 食品衛生学 I
- 食品衛生学 II
- 食品衛生学実験

「食べ物と健康 「調理学」 (S1-4)」の目的と構成要素

【目的】

食物基礎科学を基礎として、下記の内容を修得することを目的とする。

- 食べ物の特徴をふまえた食事設計及び調理の役割の理解

【構成要素】

- 食物基礎科学
- 調理学Ⅰ
- 調理学実習Ⅰ
- 調理学Ⅱ
- 調理学実習Ⅱ
- 調理学実習Ⅲ

「専門分野 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論（S1-5）」の目的と構成要素

【目的】

食物基礎科学を基礎として、下記の内容を修得することを目的とする。また、「専門分野栄養教育論（S1-6）」は、「基礎栄養学」及び「応用栄養学」の内容を基礎として含んでいる。

- 栄養の基本的概念及びその意義についての理解
- エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義についての基礎的な理解
- 栄養状態や心身機能に応じた栄養管理（栄養ケア・マネジメント）の基本的な考え方についての理解
- 食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠についての理解
- 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理についての基礎的な理解
- 栄養教育の意義及び目的に応じた理論と技法についての理解
- 社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴に基づいた栄養教育の展開についての基礎的な理解

【構成要素】

- 食物基礎科学
- 基礎栄養学
- 基礎栄養学実験
- 応用栄養学
- 応用栄養学実験
- 栄養アセスメント

【専門分野 栄養教育論（S1-6）】

- 栄養教育論Ⅰ
- 栄養教育論実習Ⅰ
- 栄養教育論Ⅱ
- 栄養教育論実習Ⅱ

「フードスペシャリスト (S1-7)」の目的と構成要素

【目的】

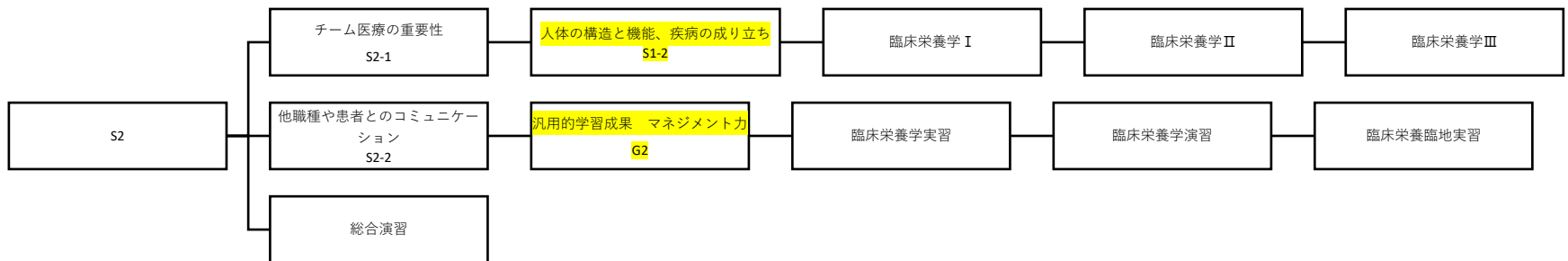
フードスペシャリスト資格に関係する下記の内容を修得することを目的とする。

- フードスペシャリスト論
- 食品流通・消費に関する科目
- フードコーディネート論

【構成要素】

- 食文化論
- 食料経済
- フードコーディネート

チーム医療の重要性を理解し、他職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を獲得する。(S2)

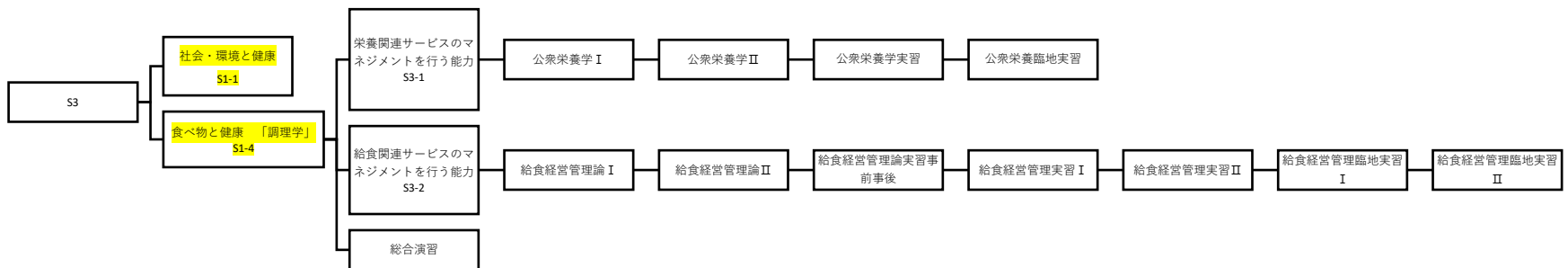


チーム医療の重要性を理解し、他職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を獲得する。(S2)

【目的】

- チーム医療の重要性の理解は、下記の授業等で構成する。
 - 「人体の構造と機能、疾病の成り立ち (S1-2)」
 - 「臨床栄養学Ⅰ」
 - 「臨床栄養学Ⅱ」
 - 「臨床栄養学Ⅲ」
- 他職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力は、下記の授業等で構成する。
 - 「汎用的学習成果 マネジメント力 (G2)」
 - 「臨床栄養学実習」
 - 「臨床栄養学演習」
 - 「臨床栄養臨地実習」
- 多様な専門領域の横断的内容として、総合演習を含む

公衆衛生を理解し、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行う能力を獲得する。(S3)

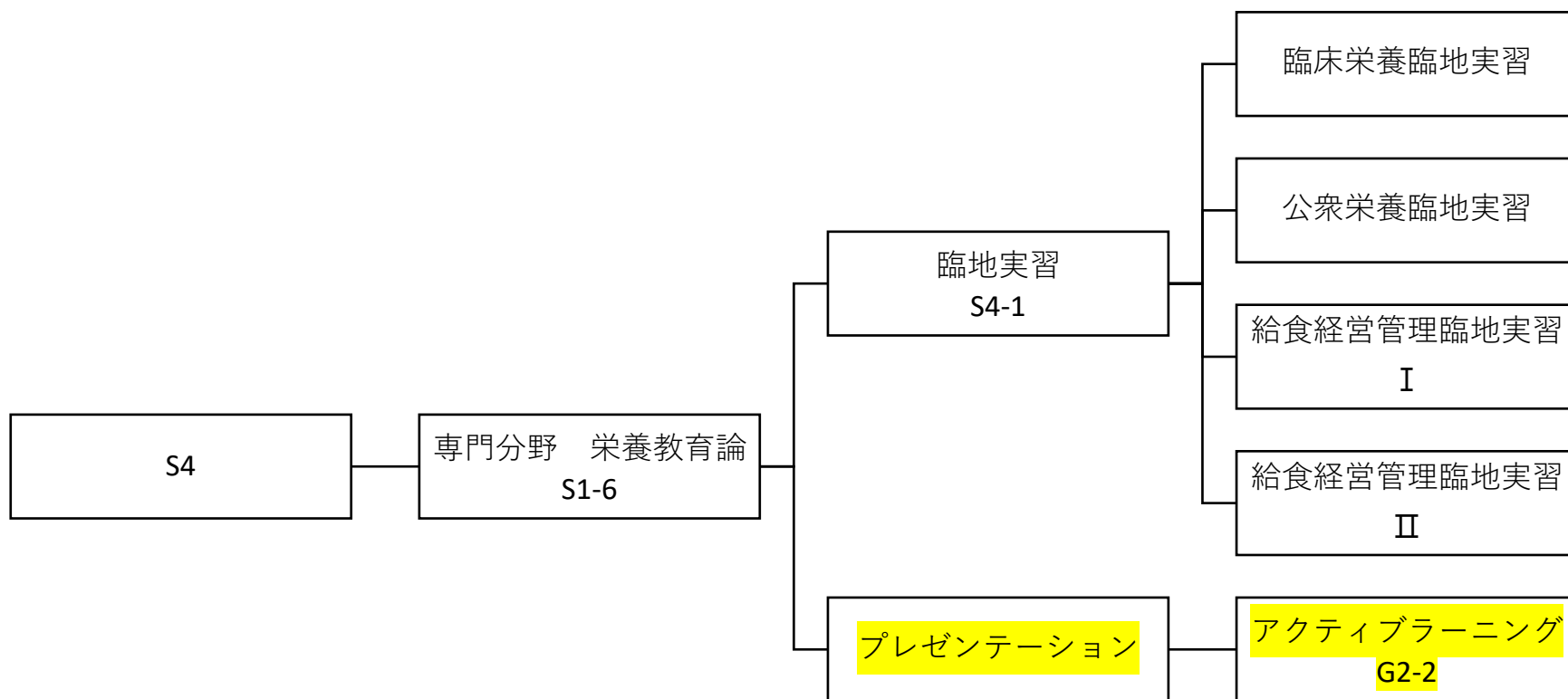


公衆衛生を理解し、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行う能力を獲得する。(S3)

【目的】

- 社会・環境と健康 (S1-1)、食べ物と健康 「調理学」 (S1-4) を基礎とする。
- 栄養関連サービスのマネジメントを行う能力 (S3-1) の内容は、下記の知識で構成する。
 - 「公衆栄養学Ⅰ」
 - 「公衆栄養学Ⅱ」
 - 「公衆栄養学実習」
 - 「公衆栄養臨地実習」
- 給食関連サービスのマネジメントを行う能力 (S3-2) の内容は、下記の知識で構成する。
 - 「給食経営管理論Ⅰ」
 - 「給食経営管理論Ⅱ」
 - 「給食経営管理論事前事後」
 - 「給食経営管理実習Ⅰ」
 - 「給食経営管理実習Ⅱ」
 - 「給食経営管理臨地実習Ⅰ」
 - 「給食経営管理臨地実習Ⅱ」
- 多様な専門領域の横断的内容として、総合演習を含む

健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための
栄養指導を行う能力を獲得する。(S4)

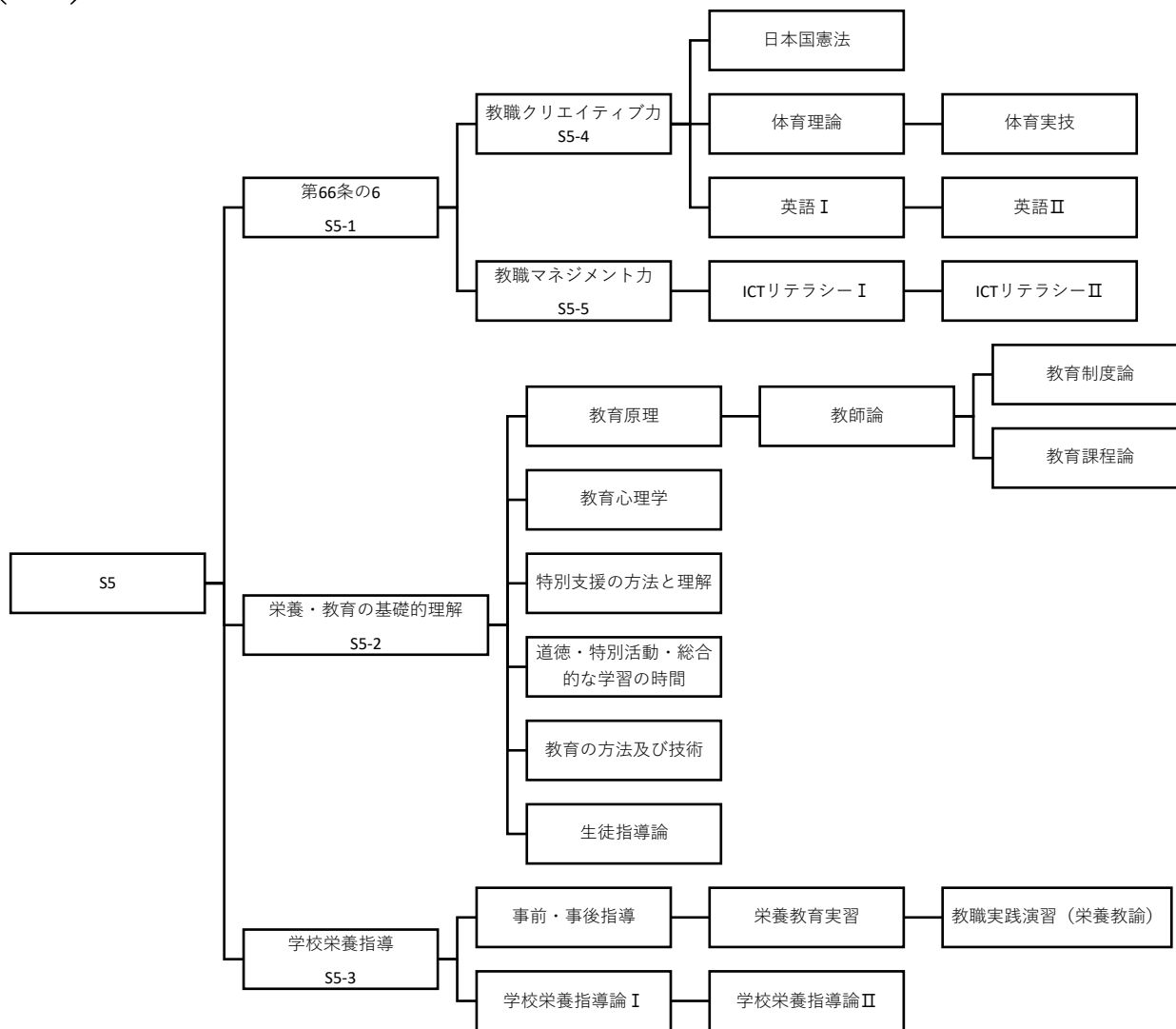


健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養指導を行う能力を獲得する。(S4)

□ 栄養教育論を基本とし「臨地実習 (S4-1)」「プレゼンテーション」「アクティブラーニング (G2-2)」で構成する。

- 「臨地実習 (S4-1)」
- 「臨床栄養臨地実習」
 - 「公衆栄養臨地実習」
 - 「給食経営管理臨地実習Ⅰ」
 - 「給食経営管理臨地実習Ⅱ」

子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力を獲得する。（S5）



子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力を獲得する。（S5）

【目的】

- 子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力は、「66条の6（S5-1）」、「栄養・教育の基礎理解（S5-2）」、「学校栄養指導（S5-3）」で構成する。
- 「66条の6（S5-1）」は「教職クリエイティブ力（S5-4）」「教職マネジメント力（S5-5）」で構成する。
 - 教職クリエイティブ力（S5-4）
 - 「日本国憲法」
 - 「体育理論」
 - 「体育実技」
 - 「英語Ⅰ」
 - 「英語Ⅱ」
 - 教職マネジメント力（S5-5）
 - 「ICTリテラシーⅠ」
 - 「ICTリテラシーⅡ」

子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力を獲得する。（S5）

□ 「栄養・教育の基礎理解（S5-2）」は以下の授業で構成する。

- 「教育原理」
- 「教師論」
- 「教育課程論」
- 「教育制度論」
- 「教育心理学」
- 「特別支援の方法と理解」
- 「道徳・特別活動・総合的な学習の時間」
- 「教育の方法と技術」
- 「生徒指導論」

子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力を獲得する。（S5）

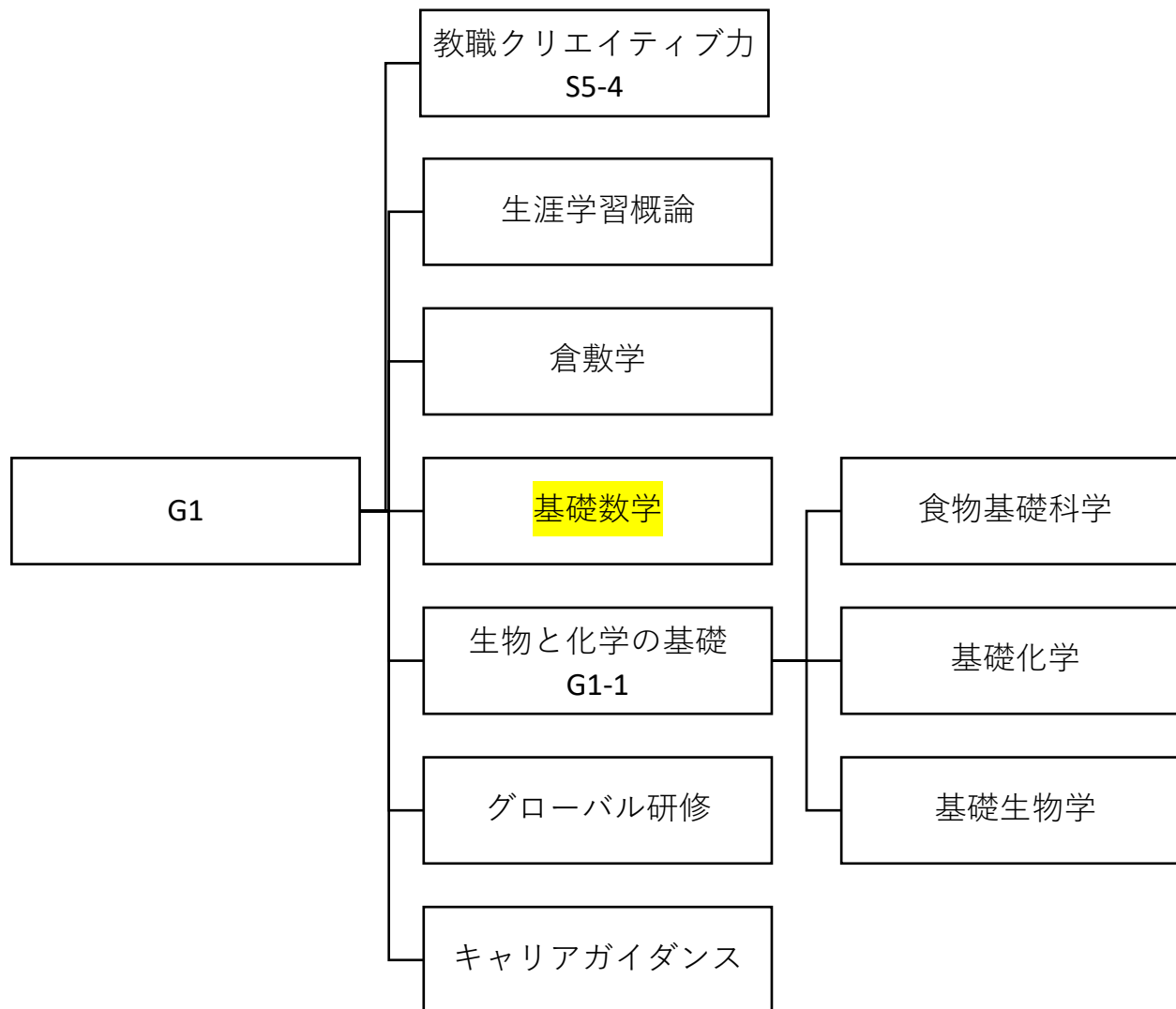
□ 「学校栄養指導（S5-3）」は以下の授業で構成する。

- 「事前事後指導」
- 「栄養教育実習」
- 「教職実践演習（栄養教諭）」
- 「学校栄養指導論Ⅰ」
- 「学校栄養指導論Ⅱ」

汎用的学習成果

基礎教育科目の学習をとおして、

基礎的な知識から新しい知識・健康関連データを創造する力や新食品開発企画力や研究開発力など栄養学分野の基本的な能力と知識を現代の諸問題と関連づけて展開できるクリエイティブ力を獲得する。(G1)



基礎的な知識から新しい知識・健康関連データを創造する力や新食品開発企画力や研究開発力など栄養学分野の基本的な能力と知識を現代の諸問題と関連づけて展開できるクリエイティブ力を獲得する。(G1)

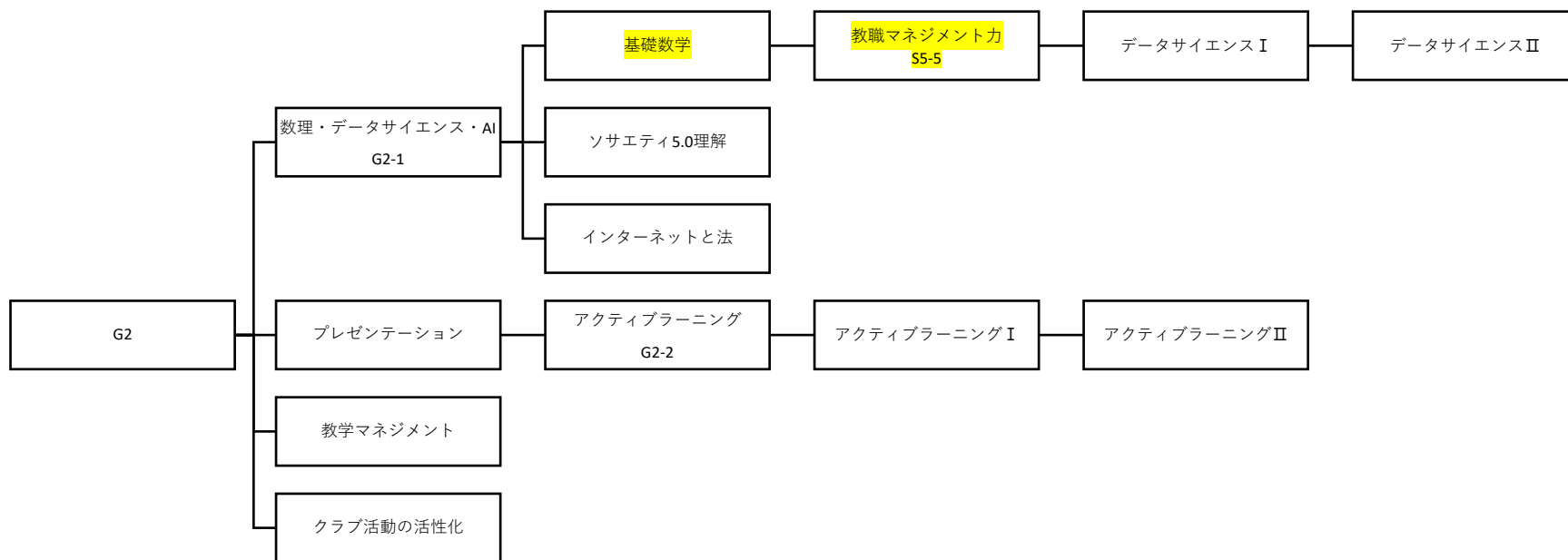
「クリエイティブ力 (G1)」は以下の授業で構成する。

- 「教職クリエイティブ力 (S5-4)」
- 「生涯学習概論」
- 「倉敷学」
- 「基礎数学」
- 「生物と化学の基礎 (G1-1)」
- 「グローバル研修」
- 「キャリアガイダンス」

「生物と化学の基礎 (G1-1)」は以下の授業で構成する。

- 「食物基礎科学」
- 「基礎生物学」
- 「基礎化学」

数量的スキルや ICT リテラシーで Society 5.0 時代のビッグデータを管理・活用し、円滑なチームワーク、リーダーシップ、対人コミュニケーションで、Society 5.0 時代のビッグデータを管理・活用し、個人のヘルスプランを創案し、健康改善につなげるマネジメント力を獲得する。(G2)



数量的スキルやICTリテラシーで Society 5.0 時代のビッグデータを管理・活用し、円滑なチームワーク、リーダーシップ、対人コミュニケーションで、Society 5.0 時代のビッグデータを管理・活用し、個人のヘルスプランを創案し、健康改善につなげるマネジメント力を獲得する。(G2)

「マネジメント力 (G2)」は以下の授業で構成する。

- 「数理・データサイエンス・AI (G2-1)」
- 「プレゼンテーション」
- 「アクティブラーニング (G2-2)」
- 「教学マネジメント」
- 「クラブ活動の活性化」

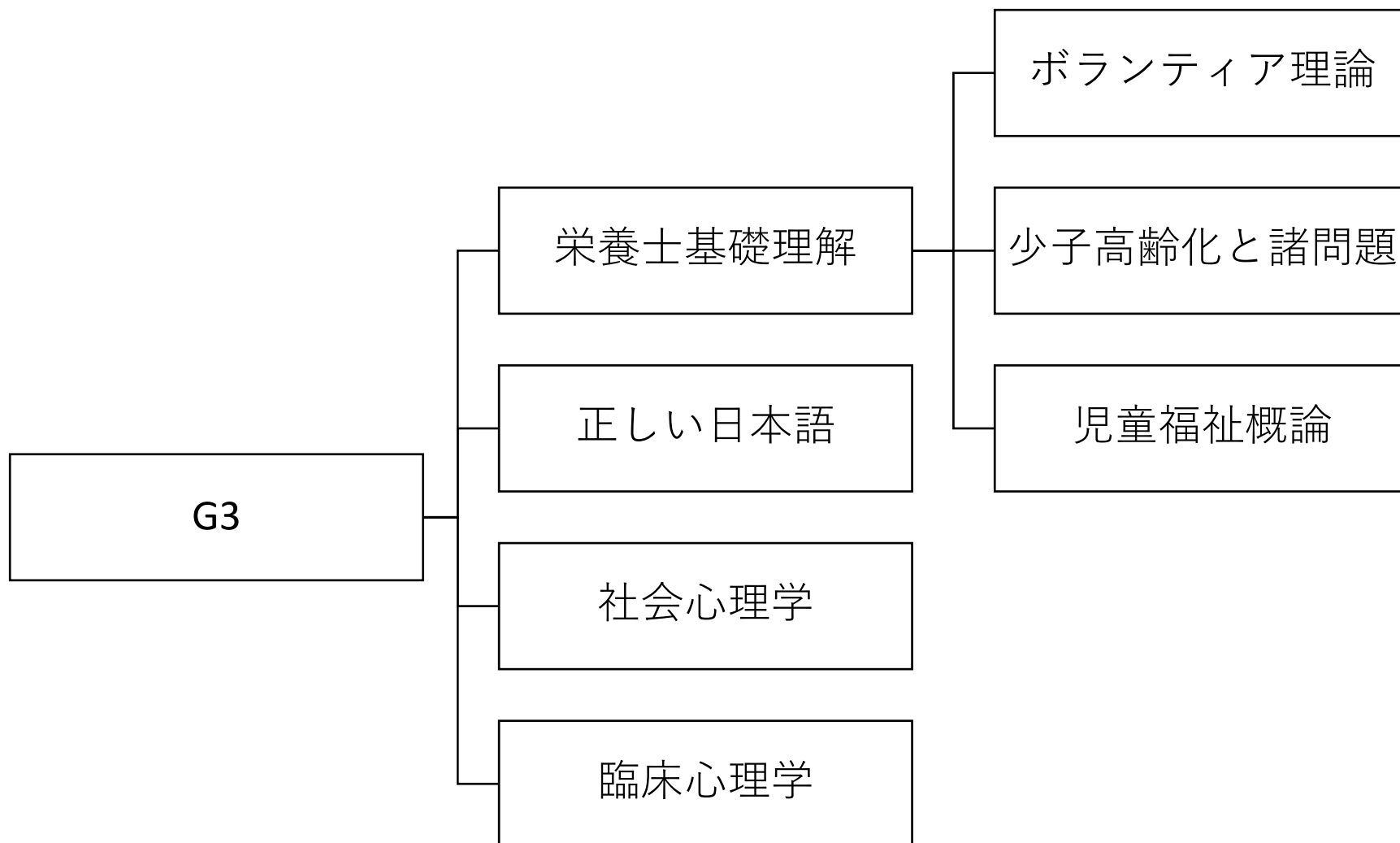
「数理・データサイエンス・AI (G2-1)」は以下の授業で構成する。

- 「基礎数学」
- 「教職マネジメント力 (S5-5)」
- 「インターネットと法」
- 「データサイエンスⅠ」
- 「データサイエンスⅡ」
- 「ソサエティ5.0理解」

「アクティブラーニング (G2-2)」は以下の授業で構成する。

- 「アクティブラーニングⅠ」
- 「アクティブラーニングⅡ」

心身のサポートや精神的にケアする力、健康づくりをサポートするために信頼される社会人としての態度、信念、意見および責任を果たすために必要な倫理観、自己管理能力などのホスピタリティ力を獲得する。（G3）



心身のサポートや精神的にケアする力、健康づくりをサポートするために信頼される社会人としての態度、信念、意見および責任を果たすために必要な倫理観、自己管理能力などのホスピタリティ力を獲得する。（G3）

「ホスピタリティ力（G3）」は以下の授業で構成する。

- 「栄養士基礎理解」
- 「ボランティア理論」
- 「少子高齢化と諸問題」
- 「児童福祉概論」
- 「正しい日本語」
- 「社会心理学」
- 「臨床心理学」